

さつまいも掘りのしおり

【さつまいもの栽培】

今年は6月9日につる状のさつまいもの苗を植えました。化学肥料、農薬は使っていません。今年は紅あずまと、試しに安納芋を植えました。また、10月に、繁茂したつるから伸びる根を引き抜くため、つる返しという作業をしました。



さつまいもの苗



植え付け道具



植付の様子

【さつまいもの収穫】

芋を傷つけないよう慎重に、シャベルを芋の茎から離れたところに入れて、まわりの土を少しずつ掘り返します。さつまいもの上にかぶさっている土をどけて、掘り出します。

【さつまいもの保存】

つるを取り、芋を一本ずつに分けて土を付けたまま（水で洗わない）2～3日、天日に干します。土は干した後、手で払って下さい。安納芋は熟成させると糖度が上がるため、新聞紙に包んで涼しい場所で1ヶ月ほど保存します。

【品種について】

○紅あずま

昔ながらのお芋らしい、ほくほく系品種の代表です。上品な甘味で繊維質、水分が少なく、口の中でほろりとほどける粉質です。

○安納芋

水分が多く、ねっとりとした食感と強い甘さが特徴。ねっとり系人気の火付け役です。最近まで種子島のみで栽培されていたそうです。

【さつまいもの花】

さつまいもは多くの地域では花を付ける前に寒さで枯れてしまいます。さつまいもはアサガオと同じヒルガオ科の植物で、暖かい地域では淡いピンク色の花を咲かせるそうです。

参考：お芋美腸研究所 <https://oimobicho.jp/raising/sweet-potato-harvest/>

：野菜大図鑑 <https://vegetables01.xyz/archives/10844>